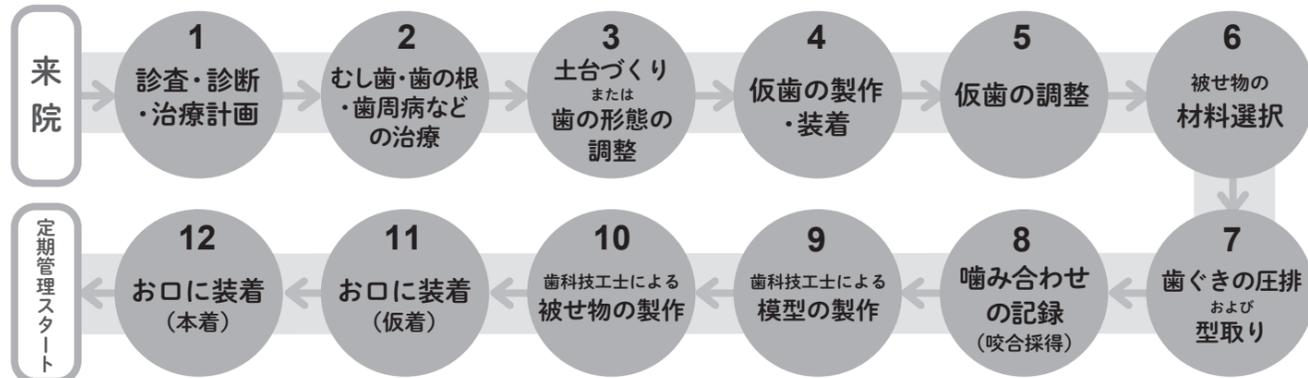


被せ物 ～歯医者さんが治療に手間と時間をかけるわけ～

被せ物治療 開始から終了までのロードマップ



歯医者さんのこだわり①

炎症のないお口に整える

歯周病の治療前



歯ぐきがブヨブヨ！出血！きれいで正確な歯型が取れないのは、容易に想像できますね。

歯周病の治療後



ブヨブヨの歯ぐきもすっきり。ここが被せ物治療のスタートです！

被せ物治療を行う場合、ぴったりフィットする被せ物が理想ですが、それには精度の高い歯形が必要です。仮に歯周病で歯茎がぶよぶよと腫れていたり、出血がある状態では歯形は不鮮明になりフィットする被せ物ができません。ですから被せものには腫れや出血がない歯茎が不可欠で、そのためにまず歯周病による炎症を取り除く治療を受けていただきます。

歯医者さんのこだわり②

割れにくい土台づくり

まずは歯みがきやお掃除(歯石除去)で

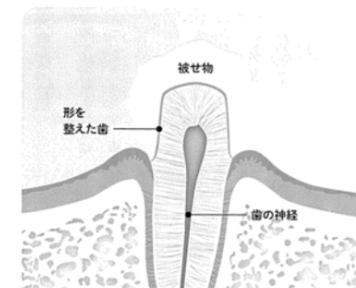
炎症のない歯ぐきに整える

歯の神経を失っていない

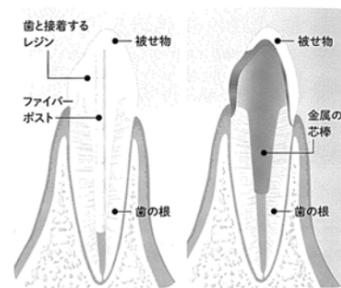
歯の神経を失っている

歯の形態を調整する

人工の土台をつくる



神経がある場合は、神経を残したまま被せ物が装着できるよう、歯の形を整えます。



被せ物を装着するために人工の土台をつくります。土台には、金属製(右)のもの、ファイバー製(左)のものがあります。

仮歯をつける(仮歯はその場ですくにできます)

*患者さんの状態により、仮歯をつけるタイミングは異なります。

歯医者さんのこだわり③ 仮歯で入念な形の調整

仮歯の役割1

削った歯の表面を守る

削った歯の表面は歯質が弱く、細菌や汚れ、刺激に敏感で、むし歯になりやすいです。仮歯で覆うことで、歯の表面が守られます。

仮歯の役割2

噛めるお口を維持する

歯がないままでは、噛むことができません。被せ物ができあがるまでのあいだ、噛める状態を維持するのも仮歯の役割です。

仮歯の役割3

使い心地に合わせて形を調整する

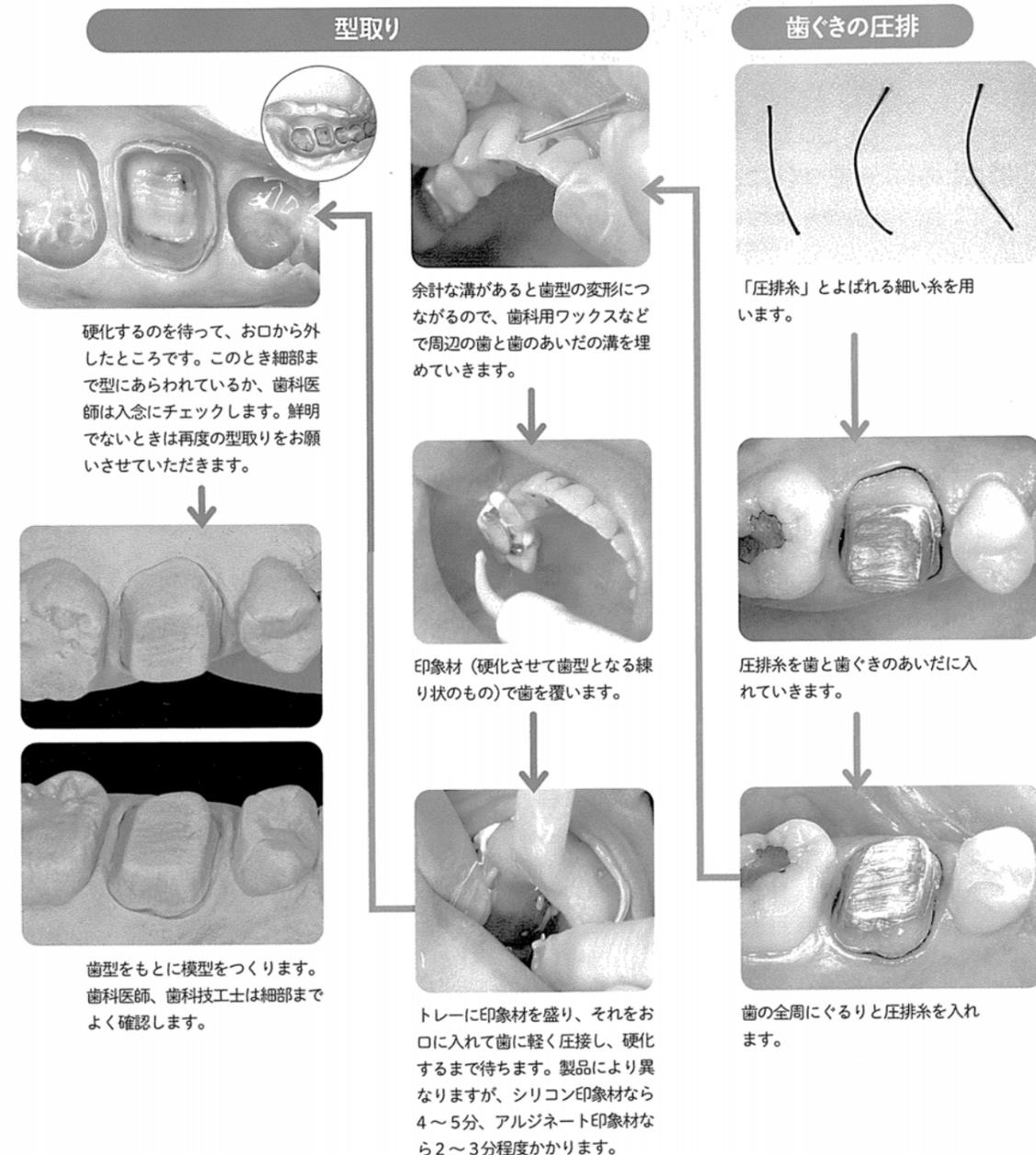
歯科用プラスチックでできている仮歯では、削ったり付け足したりすることが容易です。患者さんのお口に入った状態をみながら、大きすぎないか、お口に合っているか、違和感はないか、歯みがきしやすいかなどを確認し、形を調整していきます。そうして調整した形を、最終的な被せ物に生かします。

仮歯の役割4

まわりの歯が動いてこないようにする

歯がない場所には、まわりの歯が倒れたり飛び出てくる場合があります。仮歯はそうした歯の移動を防ぎ、噛み合わせを維持します。

歯医者さんのこだわり④ 型取りは被せ物治療の要



土台作り、仮歯の調整後は歯型を取る工程です。型取りがうまくできればぴったりフィットする被せ物ができます。それは虫歯になりにくく、再度の治療になりにくい被せ物とも言えます。

型取りに際し「歯ぐきの圧排」をする場合があります。歯と歯ぐきの間に専用の糸(圧排糸)を入れます。これより型取り用の材料が歯と歯茎の境に流れ込みどこまで被せものを作れば良いかの境界線や形が鮮明になります。

歯ぐきの圧排後、トレーと呼ばれるものに印象材を盛ってそれを歯列に押し当てて歯型を取ります。これらは手間と時間がかかりますが、それだけ型取りの工程は、被せ物治療にとって重要なため、歯科医師も力を注ぐところです。

歯医者さんのこだわり⑤ 噛み合わせの記録は慎重に

型取りと並行して上下の歯の噛み合わせを記録して行きますこの工程を「咬合採得」と言います。

例えば上の歯の被せ物を作る場合に、下の歯とうまく噛み合わせるためには、顎の位置関係だったり歯の形の本上下の歯の高さなども考慮しなければなりません。

一箇所でも噛み合わせが不適切だと、うまく噛めなかったりあごに痛みが出てしまったり、上下の歯をうまく動かさないなどの支障が出ます。

噛み合わせの記録の手順



軽く歯と歯を合わせるように噛んでいただきます。



これが噛み合わせの記録です(シリコン)。

歯医者さんのこだわり⑥ 模型でお口を再現&被せ物製作

ワックスアップ



被せ物の形を歯科技工士がワックスでつくります。このとき、患者さんの希望や歯みがきしやすい形にも配慮します。

被せ物が完成!

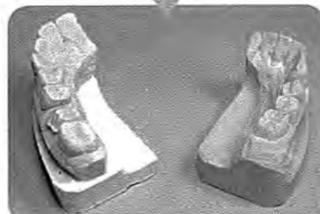


ワックスアップ後、被せ物を完成させていきます。

模型製作



歯型に石膏を流します。



歯型からできた模型です(上・下)。



噛み合わせの記録を参考に、上下の歯の位置関係などを調整して、患者さんのお口を再現します。

仮歯を長く使い続けないで!

被せ物が完成するまでは仮歯で生活いただきますが、仮歯は白く形も綺麗なため中には仮歯を使い続けようとする患者さんもいます。

長く使い続けることは好ましくありません。まず、仮歯は外しやすい接着剤を使用してお口に入っているため外れてしまう可能性があります。

また、仮歯の材質であるプラスチックは多孔質のため汚れを吸着していき、使い続けていると仮歯と歯の境目に虫歯ができたリ仮歯が変色したり、匂いがついたりといった弊害も出てきます。あくまでも「仮歯」は仮とご理解ください。

いよいよ被せ物を製作

まず患者さんのお口を模型で再現します。歯形に石膏を流して、上下あごそれぞれの歯列の模型を作ります。

模型には被せ物が入る歯だけではなく、周辺の歯の形も記録されています。噛み合わせの記録剤を使って模型を咬合器に取り付けます。

この咬合器に取り付けた模型上で、次の作業の「ワックスアップ」や「被せ物製作」をしていきます。

歯医者さんのこだわり⑦ 被せ物が完成 = 定期管理のスタート

定期受診が必要なわけ 1

むし歯を防ぐ

どんなにぴったりフィットする被せ物でも、その後のケアが悪ければ長もちしません。とくに、被せ物と歯の境目は、むし歯になりやすい場所です。歯科医院で教えてもらったように、ケアを続けましょう。定期的にお口のチェックや歯みがき指導を受けることも忘れずに。

定期受診が必要なわけ 2

被せ物自体を守る

接着材の品質向上により、被せ物は以前よりも外れにくくなっているとはいえ、噛む力を受け止めているうちに接着がゆるんできるとも。定期的な受診で、被せ物の状態を確認してもらいましょう。

定期受診が必要なわけ 3

お口全体を健康に維持する

被せ物を入れた歯以外に、お口全体の状態をチェックしてもらうためにも、歯科の定期受診は大切です。ほかの歯の状態が悪くなると、被せ物を入れた歯にも影響してきます。

様々な工程を経て出来上がった被せ物。すでに仮歯を使って不具合などの調整をしていますので、この段階で大きな形態の調整をすることはあまりありません。ですが、場合によっては仮止め用の接着剤で仮着して、実際に使っていただきながら不具合を調整していきます。そして、本止め用の強固な接着剤で装着し使っていただきます。

でも「これで終わり」というわけではありません。その後は患者さんによる毎日の適切なケアと定期的なメンテナンス受診が大切です。

患者様からも大好評!

夢デン
公式LINE
ご登録お願いします

LINE

デンタルクリニックでは患者様とのご連絡用にLINEを使用しています。患者様からは「お知らせが来るので診察日を忘れることが無くなった」「電話が通じない時間にも予約変更連絡ができて便利!」「痛いときや困った時にアドバイスがもらえて助かった」などのお声をいただいています。

医院としても診療時間中に電話が鳴ることが少なくなり、診療に集中できるなどのメリットがあります。

また、地震や停電、職員のコロナ感染などによる臨時休診を患者様にすぐにお知らせいたしますので、スマホをお持ちの方は原則LINE登録をしていただければ幸いです。



・ 医院からのお知らせ ・

4/7(金) 休診

5/1(月)~5/5(金)
休診

発行元

夢デンタルクリニック

札幌市西区西野3条7丁目
5-15

☎ 011-667-4618

〈診療時間〉

月・火・木 9:30-18:30

水・金 9:30-17:00

休診日: 土・日・祝